



新年度研修・基調講演要旨

喜びをもって働く人になるために(2)

(お話) 日本女子大学教授

久田則夫先生

いきいきと喜びをもって働く人となるために、ソーシャルワーク(Social Work)、ケアワーク(Care Work)、チームワーク(Team Work)の三つのワークが大切ですが、一番目のワークのことは説明しました。

次にケアワークですが、一般的には「介護」という意味で使われていますが、私の解釈で言うと、ケアワークとは、相手を大切にしていける働きです。一人の人格をリスペクトしながら大切にしていく働き。ケアというのは、見捨てない、見放さないことです。強度高度障害の人など、この方への支援は大変だなあと一般社会の方や、或いはよその事業者だったら、ちよつと



発行
社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
〒421-0412 静岡県 牧之原市
坂部 2151 番地 2
TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp
http://www.yamabatogakuen.jp/

機関誌代は無料です。

無理と思うかもかもしれませんが、私たちは、誇りをもって、喜びをもって支援させていただく。

うまくいかなないことも多いし、長年にわたってサポートし続けていかねばならない。苦しいしんどい。でも、その中で私たちはプロとして育っていきます。簡単に解決しない問題にぶつかって、ああしんどいなと思うとき、このような苦勞を、ご両親

はずつと続けていることを思い出したものです。御両親にも、保護者にも、ご本人にも、あー、ここを利用できてよかった、この職員さん達でよかった、私たちを大切にしてくれると思っ頂けるなら、ケアワークをしていくことになりませう。

残念ながら日本の社会福祉制度は、国連からも勧告を受けたように、問題があります。でも、だからできないではなく、そのような環境の中でも、ケアワークに従事する必要があります。

どんな人であろうと、心をこめて丁寧な姿勢で接していく。特に、「支配的にならない」ことが大事です。「支配的」とは、「相手の考えや動きの拘束」だけでなく、「決めつけ」も含みます。この人はこういうことしかできない、この人にはこうすればいいんだと、そのような思い込みで相手の行動を決めつけていくことですね。

人間の意思は、日々変わっていくので、今日はどんな思いかな、それを学ばせて頂くという姿勢で接することが大事です。

人は無意識のうちにも他者より優位に立ちたがるので、常に自分自身を見つめ直し、この誘

惑に打ち勝っていきましよう。利用者、職員を初め全ての人が、私たちを育ててくれる重要なパートナーであり、インストラクター、ティーチャーなのです。

日本の学会では、「指導教授は誰？」と質問することが一般的なのですが、私はこう答えるようにしています。「アカデミック面では、プロフェッサー・ビル・ウィリアムズです。ただ、実践面では、私の指導教授は、私が元働いていた施設の職員さん達であり、利用者の方々であり、保護者の皆さんです」と。

ケアの意味としては、相手の立場に立つという意味もあります。care for youの英語表現を、大抵、「あなたのためにケアする」と訳しますが、これは正しくない。この場合、前置詞のforは、○○のためにではなく、○○の立場に立つて、という意味です。I care for youというと、「あなたの立場に立ちながら、大切にさせていただきませう」という意味なんです。

それからもう一つ、ケアには、「愛し続ける」という意味もあります。この場合、好きであり続けるという意味ではなく、たとえ好き嫌いの感情があっても、

その感情に、私たちの言葉や態度、表情を支配させない。例えば、ややネガティブな感情を抱く相手に対しても、私たちの発する言葉や態度は、一貫して愛に基づくものにする。その姿勢を貫くということです。

先ほど、人生は選択だと言いました。不思議なことに、愛に基づくアプローチを続けていると、かつては苦手と思っていた人とも、今は気軽に話せるということが起こるんです。

さて、三つ目の「チームワーク」ですが、これは、二人以上の小集団が共通の目的に向かって力を合わせていくことです。

共通の目的とは、本当のハピネスの実現、喜びの実現です。

チームワークを機能させるためには、仲間に対するリスペクトと同時に、目的達成のため、今、この時、この場で、自分は何をすべきか常に意識する必要があります。又、情報共有することも大事で、よい点、改善点を共有し、問題解決のため行動していかねばなりません。

最後に、三つのマネジメントについてお話ししましょう。

一般に、マネジメントは、日

本語では「組織運営」とか「組織管理」とか訳されていますが、それは本来の意味を表す訳ではありません。マネジメントの根源的な意味は、すべての人のハピネスを実現するための一連の継続的な取組、となります。従って、これまでお話ししたワークという単語と、同じような意味を持つていると言えます。

ため有効に使いましょ。又、**時**は、病気の癒し等、最良の薬でもありますし、**時**は愛をもたらずものでもあり、短時間であっても寄り添うことができます。

さて、三つのマネジメントとは、①タイムマネジメント、②ストレスマネジメント、③セルフマネジメントですが、①を簡単に説明すると、時を適切に用いて、ハピネスを生み出していくスキル。時を適切に用いて、自分も利用者も、共に働く仲間も、喜びを生み出していく、そのようなスキルのことです、このスキルが習得については色々な書物が出ていますので、ぜひ読んでほしいですが、でも根源的な面から言うと、単なるテクニクではありません。①の習得のためには、「忙しい、時間がない。だからよい働きができない」といったふうに、「時を敵視しないことが大切。時間は平等に与えられていることを知り、与えられた時間を喜びの実現の

ストレスやプレッシャーは、ネガティブにとらえられがちですが、実はこれらによつて、人は成長することもできます。大事なものは、ストレスとうまく付き合っていく力を磨いていくこと。「ストレスの要因」を考え、それを理解し、解決策の立案・実施の一連の取組みを通して、喜びに至るストレスマネジメントスキルを磨いていきましょう。

最後に③について。これは、心身両面で自分を鍛え、よい状態に導いていく力です。なぜこれが必要かというと、これができないと、自分自身にも、他者にも、そして組織に対しても、ハピネスや喜びをもたらすことが困難になるからです。

先ほども話しましたが、人間には感情が与えられていて、好きとか、大切に思うとかポジティブな感情もあれば、その逆のネガティブな感情もあり、感情に支配されない人になることが求められています。どうしたら、

そのような人になれるか？ハピネスをつくりだす人になるためにはどうすればいいの？

皆さんの法人の誕生とも関連することですが、聖書は、「愛」について、次のように語っています。この「愛の定義」に根差した生き方をすることが、セルフマネジメントを身に着ける上で大切だと私は思っています。

「愛」の単語の箇所には、「自分(私)」を置き換えてみると、さらに多くの気づきを与えられると聖職者の方々が言っていますので、ぜひ試してみてください。

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

(コリント第一、十三章4〜7節)

(完)

(文責・長沢道子)



今こそ知りたい！ 静岡のクラーク先生

駿府教会 中村 恵 太

明治の初め、静岡で福音の種を蒔いた人エドワード・ウォーレン・クラーク (Edward Warren Clark) は一八四九年、アメリカ合衆国のニューハンプシャー州ポーツマスで生まれました。父親は会衆派の牧師で、熱心な信仰者の家庭に育ちます。

一八六五年頃、名門ラトガース大学に入学し、そこで多くの日本人留学生と、生涯の友ウィリアム・グリフィスと出会いました。この関係がクラーク来静に繋がります。

一八六八年十月二三日、明治改元の日、府中学問所すなわち後の静岡学問所が開設されました。明治維新で江戸から静岡へ移住した旧幕臣たちは、教育に新時代の希望を託したのです。ここに江戸とその周辺の教育機関に属していた当時最高の人材が集結しました。中村正直 (J.S.ミルの『自由之理』翻訳者) や外山正一 (後の東京帝国大学総長) 他、横浜の仏語伝習所でフランス人から直接教育を受けた仏学関係者も多数在籍し、歴史や地理を原語の教科書で学ぶ等、今と比較しても高水準な授

業が行われます。一八七一年、この静岡学問所に優秀な外国人教師を招聘しようとした勝海舟は、既に福井藩に赴任していたグリフィスに、「プロフェシヨナル・ジェントルマン」の斡旋を依頼し、グリフィスはクラークを紹介したのでした。

こうしてグリフィスから話を受けたクラーク (当時二二才) は一八七一年十月、来日したのですが、改めて契約書を読んで驚きます。そこにはキリスト教布教を禁じ、宗教上の議論を禁ずる項目があったからです。これは建前条項であると考え

て黙っていたれば済んだかもしれませ

ん。しかし妥協できなかったクラークは「キリスト教徒が、三年間も異教徒の中に生活して、自分の心に最も密接な問題に完全な沈黙を守ることは不可能だ」と、その契約書への署名を拒みました。契約が不調に終われば、渡航費と理化学の教材をそろえるための借金が返済不可能となりかねない、かなり思い切った拒絶でした。

しかし意外にもすぐ、同条項を取

り消して構わないという返事が政府から届きます。一八七三年に禁教の高札が撤廃される一年以上前に、クラークはキリスト教布教に関する政府のお墨付きを得て静岡に向かったのです。一八七一年一月六日、クラーク静岡に到着します。宿舎は静岡市の蓮永寺で、同年二月十七日、クラークはここで初めてのバイブルクラスを行い、静岡におけるプロテスタント伝道が始められました。

当時のクラークはまだ牧師ではなく、受洗者を直接生み出しはしませんでした。聖書講義や信徒としての姿勢が周囲に多大な影響を与えます。特に中村正直との関係は深く、クラークは彼の翻訳した『自由之理』の序文を書いた程でした。静岡を離れた後ですが、静岡女学校 (後の静岡英和女学院) 設立に間接的であっても重要な役割を果たします。こうしたクラークの働きは、後の「静岡バンド」の基礎を据えたと評価できます。

静岡学問所でも、学生たちの驚くべき学習意欲に心えるべくクラークは情熱的に教えました。また、当時極めて珍しい石造「階建ての「クラーク邸」建設とそこでの様々な活動日本における太平洋側唯一の産油地となった相良油田発見の際の貢献な

ど、この紙面には収めきれないほど充実した活動を展開します。

しかし一八七二年九月の学制発布に伴って静岡学問所は廃止され、最終的にクラークも東京へ移ることにしました。そして一八七五年、アメリカに帰国したクラークは牧師となり、日本での経験を『日本滞在記』にまとめて出版したり、各地で講演活動をしたりと、今度はアメリカに日本を伝える働きを担います。

一九〇七年に五七才で亡くなる少し前の一九〇四年には、勝海舟の伝記を出版。日露戦争でどちらを支持するかで割れていた当時のアメリカ世論に日本支援を訴えたものでした。

こうして日本と静岡を愛して尽力したクラークでしたが、その功績は日本国内どころか静岡ですらあまり知られてはいません。しかし二〇二三年は勝海舟生誕二百周年にもあたり、前述した勝海舟の伝記の新訳、『勝安房 (日本のビスマルク) ——高潔な人生の物語』(静岡新聞社) が出版されるなど、再評価と顕彰の動きが始まっています。ぜひこの機会に「やまばと」読者の皆様にも、神を愛し、日本を愛し、静岡を愛した、クラークの存在を知って頂ければ幸いです。

日帰りバス旅行

ケアセンター野ばら 杉本豊規

九月二十八日(木)、新型コロナウイルスの影響で長い間自粛していた『日帰りバス旅行』に、約4年ぶりに行って頂くことが出来ました。待ちに待ったバス旅行、ご利用者の皆様はもちろん、職員もとても楽しみにしていました。

野ばらを出発してまず向かったのは昼食場所の沼津竜宮海鮮市場です。道中は豪華景品を掛けてくじ引きゲームや、ビンゴゲームをみんなで楽しみました。そして到着した竜宮海鮮市場では、金目鯛の釜めし御膳を堪能しました。いつもと違う場所で、皆で顔を見合って食べるご飯は、笑顔のスパイスも加わって、最高に美味しい昼食になりました。さて、今回のメインの行先は、『富士サファリパーク』です。



4年ぶりの

旅行、復活第一弾の計画は、バスに乗ったまま楽しめちゃう、ご利用者の皆様にも優しいプランです。



サファリゾーンのゲートをくぐる、と、まず初めに恐ろしい?猛獣エリア。実際には、可愛いクマや、かつこ良いライオン、凜々しい顔のトラなど。ご利用者の皆様も職員も窓に張り付いて釘付けになりました。その後、像やキリン、しまうま、サイなど、可愛くて迫力のある草食動物のエリアもしっかり楽しみました。

そして最後はお楽しみ、お土産購入タイム。売店の中に入ると、ぬいぐるみのコーナーに一直線の人、お菓子のコーナーに一直線の人、それぞれでしたが、みんな目をキラキラさせて、自分でレシジに持って行き、自分でお金を払って購入する楽しさを味わい、最後までご利用者の皆様の笑顔が輝く旅になりました。

(サービスマネジメント)

フレッシュマンあつまれ!

ケアセンターかたくりの花 渡邊千恵子
ケアセンター花もも 桑原裕子

十月十七日、生活ケア部門主催で、就職して二、三年の職員を対象にした、楽しい研修を実施しました。『フレッシュマン』と言っても、年齢はバラバラで心持がフレッシュな人たちの集まりです。

目的は『困った事、楽しかった事、同じ悩みを共有し、同期、仲間を増やし分かち合ひましょう』です。

各々が語り合ひ、横の繋がりをつくることに重点を置きました。

仲間意識を高めるため、最初はゲーム。3グループに分かれ行いました。ゲームと言っても勝負なので、皆さん真剣な表情でアイデアを出し合ひ、チームの一番を目指して競い合ひました。トイレットペーパーをお城の様に高く積み上げたり、紙を途中で切れずにどれだけ長くちぎれるか等の競技。ゲームで緊張が解れた所で意見交換を開始。

Q1「福祉職を選び、やまばと学園に就職した理由は?」A「学校やボランティアの中で人との出会い



など、ご縁があり引き寄せられた。」
Q2「自事業所の良い点や皆さんに伝えたいことは?」A「職員同士仲が良く、明るい雰囲気なところ。」(笑顔で回答です。)

Q3「困ったことや気になることは?」
A「仕事上の不安。」(こうして他者に話す場があり良かった!)

Q4「ストレス発散法は?」A「カラオケやガーデニング、ペットと遊ぶ等。」(各自ストレスを溜めず上手に発散していることが分かりました。)

やまばと学園のフレッシュマンは日々支援に真摯に向き合っている方々ですが、時にはちょっと立ち止まりホッと一息つき、仲間と一緒に語る時間が大切なんだと、改めて気づかれました。

研修終了後の職員の表情はとても清々しかったです。この研修を通して一人ではない仲間が居ると思っ頂けたら嬉しいです。

(生活ケア部門施設長)



105歳の大鐘さんの一日

聖ルカユニット 森本 貴之



大鐘様は大正八年七月生まれで、一〇四歳を数ヶ月過ぎたところ。当ホームの最高

齢とは感じさせない程お元気です。

敬老会では少し緊張した面持ちでしたが、お祝いのビールをほんの少し、グイッと飲みほされました。

大鐘さんの移動は車椅子。ご自身でもしっかりと自走され、マイペースで生活を送られています。移動も思いのほか静かで早く、職員が他のご利用者様に気をとられていると、いつの間にかいなくなってしまうくらいに感じる程です。

普段の生活は、朝は7時〜8時頃に起床され、夜は18時〜19時頃就寝されます。朝昼晩3食しっかりと召し上がり、朝晩は洗顔をし、食後には歯磨き、食事の間にはおやつを食べたり、お部屋で休まれたり、リビングにておしぼり巻き等簡単な作業を手伝って下さったりと自由に過ごされています。

トイレも基本的にご自分のタイミングで使用され、動作も殆どを自分でなさいます。しかし必ずトイレにあるナースコールで職員を呼ば

れ、「お願いします」と丁寧にご依頼。そのおかげで、わたしたちは、安全にトイレが使えるよう見守りお手伝いができます。また便座に座る前後には、必ず手を合わせ一礼し拝まれます。

この拝む仕草は、いろいろな場面で見られ、職員と話をする時も丁寧な言葉遣いではきはきお話しし、所作がとてきれいな方です。

一方で意思が強いはっきりと芯のある性格で、ご自分が決めたことは曲げる事なく実行されます。そのような姿に健康長寿の秘訣を感じる事がたびたびあります。

とても家族思いで、ご家族の心配をされることもよくあり、ユニットの玄関やE.Vのあるホールまで出向かれ、ご家族が来るのを待たれる姿もあります。

ご家族からのプレゼントである目覚まし時計をとて大切にされ、時計をしっかりと確認し行動の基準にされています。またそば、焼きそばが好物で時々ご家族様が持ってきて下さるのを心待ちにされています。



そんな大鐘様も長く健康に安心して生活できるお手伝いを続けていたらと職員一同思っています。

(介護員)

起震車乗車を体験して

ケアセンター花もも 栗田 正之



十月二十日、当施設の防災研修の一環として牧之原市福祉課のご協力

のもと牧之原市管理の起震車を活用し、実際の揺れを体験しました。今

後起こりえる南海トラフに備えて実際にどのような激しい揺れが起きる

のかを、皆で体験する企画。当初は起震車体験と防災についての講演を

企画していたのですが、花もも以外の事業所にも呼びかけたところ、予想以上の反響をいただき、5つの事業所から利用者、職員合わせて六十

名の参加となり、講演が予定時間内に収まらなくなったため、起震車体験を中心にした企画となりました。

当日は雨の心配もありましたが、天候も落ち着き、予定通り、駐車場に、牧之原市職員4名の方々と起震車が到着。

組み合わせないよう事前に時間差をつけ、グループごとに参加をお願いしていたため大きな混乱も無く、順番に体験していただく事が出来ました。参加された方々は、最初から揺れの恐怖を心配されている方、初めての起震車体験を楽しんでいる方など、いろいろでした。

今回は起震車の揺れは最大で震度6弱の設定までとの事でしたが、実際に私自身も初めて乗ってみて震度6弱の揺れを体感し、もし地震が発生すると、この揺れでは何も出来ずひたすら耐えながら身を守るしかないと感じました。

南海トラフではこれ以上の揺れが想定されており、実際に起きた場合の事を考えると改めて恐怖を抱かされますが、改めて命を第一に守る対策が必要と感じました。

(主任生活支援員)

歩みのあと

(9月1日〜10月31日)

●個別のニュース

1法人指導監査。9/5... 2法人指導監査。9/5... 3法人指導監査。9/5...

25キッチンカーが来寮し佐世保... 生活支援センター。9/1新規職員... 22お月見パーティーを作る。

11初倉中学2年生... 12体操教室。9/18お月見パーティーを作る。10/10笑いヨガ。

14島田市茶農振興会... 15県指導監査。9/15県指導監査。9/15県指導監査。

寄付金状況報告 (単位:円)
寄付金 2,910,303
指定寄付金 0
合計 2,910,303
4月〜9月
10月
計 4,393,303

★活動者名(敬称略)順(不同)
個人 殿村隆夫、藤原信子、井部博美、大川原富美子、柳本明日香、大塚春美、小島茂美、大石節子、三浦寿、鈴木勝利、吉永治子、団体 日赤奉仕団(章取り)、女性部 どんぐり会(ウエラ切り)、大津自治会(敷地周辺の草刈り)、あさみ会(日本舞踊の披露)、実習生受け入れ状況、清流館高校、マールカレット、相良高校、希望寮、島田市立看護専門学校、島田市立看護専門学校生、ワークセンターなのはな、フックセンターのほほ、あとかぎ、☆表紙の写真は、ワークセンターカサブランカのご利用者、利用6日目、ご本人は「体力が続く限り頑張ってください」とのこと。☆静岡のクラーク先生」を書いて下さった中村慶太先生は、駿府教会牧師であり、いらいやいます。☆寒暖差が例年になく激しい。昨今です。どうかご自愛ください。よい新年をお迎えください。(一)